

4 循環型社会の促進

- ・ 生ごみを堆肥化^{たいひ}するなどして、物質の循環に役立ちます。
- ・ 花壇と周辺の緑がネットワーク化されると生態系の維持に役立ちます。
- ・ まちに緑を増やし、まちを美しくしようとする人々が集まり、コミュニティガーデンが生まれます。その感動がまた新たなガーデンづくりへと発展していきます。
- ・ 地域に緑が増えることで、二酸化炭素を減らし、地球温暖化を緩和させることにも役立ちます。



コミュニティガーデンの作り方

コミュニティガーデンをはじめするには、仲間を集め、活動できそうな場所を見つけなくてはなりません。

1 花を植える場所

道路の植樹樹や公園の中などに、皆さんで花を植えたい場合は、管理している土木センター等に聞いてみてください。

また、行政の管理している未利用地であれば、花壇として使える可能性があります。

現在、北区役所では、北25条西12丁目付近、新琴似六番通の隣接地の一部、旧琴似川の隣接地を花壇用地として貸し出しています。

なお、近くに水を確保できないと、車で水を運ばなくてはならないなど不都合なことがありますので、あらかじめ考えておきましょう。

2 仲間を集める

ちょっと大きな花壇を作ろうとしたら、1人では難しくなります。地域の皆さんで花壇を作るのが、コミュニティガーデンなので、一緒に作業をする仲間を集めましょう。

もし、仲間がいなければ、町内会の役員に相談してみましょう。

新琴似六番通では、女性が作業をしていたら、地域の方がスコップを持って手伝いに来てくれたそうです。